

1 予算の概要

(1) 基本的な考え方

平成 28 (2016) 年度当初予算は、国の積極的な経済対策等により、日本経済は景気の回復基調が続いていますが、実体経済はいまだ低迷が続いており、依然として厳しい財政状況が続く中での予算編成となりましたが、町田市基本計画である「まちだ未来づくりプラン」の5年目として、またその実行計画である「新5カ年計画」の最終年度として、その進捗状況と今後の見通しを確認し、目標達成に向けた取り組みの着実な推進を目指すため、次の点を基本に編成しました。

- 「まちだ未来づくりプラン」に定めた5つの「未来づくりプロジェクト」である《1 地域社会づくりを基本とするまちづくりプロジェクト》、《2 町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト》、《3 団地再生に向けたプロジェクト》、《4 みどりを活用したまちづくりを推進するプロジェクト》、《5 基幹交通機能を強化するプロジェクト》を着実に推進します。
- 「まちだ未来づくりプラン」に定めた4つの「まちづくり基本目標」である《Ⅰ 将来を担う人が育つまちをつくる》、《Ⅱ 安心して生活できるまちをつくる》、《Ⅲ 賑わいのあるまちをつくる》、《Ⅳ 暮らしやすいまちをつくる》の実現を目指す施策を推進します。
- 「まちだ未来づくりプラン」に定めた3つの行政経営基本方針である《1 市民と問題意識を共有し、共に地域課題に取り組む》、《2 市民の期待にこたえられるよう、市役所の能力を高める》、《3 いつでも適切な市民サービスが提供できる財政基盤をつくる》に基づいて事業の見直しを進め、着実に行政経営改革を推進します。

まちだ未来づくりプラン

5つの「未来づくりプロジェクト」

- 地域社会づくりを基本とするまちづくりプロジェクト
- 町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト
- 団地再生に向けたプロジェクト
- みどりを活用したまちづくりを推進するプロジェクト
- 基幹交通機能を強化するプロジェクト

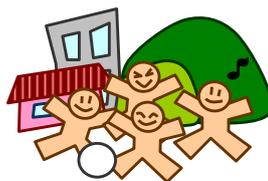
4つの「まちづくり基本目標」



将来を担う人が育つまちをつくる



安心して生活できるまちをつくる



賑わいのあるまちをつくる



暮らしやすいまちをつくる

3つの「行政経営基本方針」

- 市民と問題意識を共有し、共に地域課題に取り組む
- 市民の期待にこたえられるよう、市役所の能力を高める
- いつでも適切な市民サービスが提供できる財政基盤をつくる

(2) 予算規模

一般会計に特別会計をあわせた総予算額は、2,624億9,461万円で、対前年度比較で0.6%の増加となりました。

(単位:千円・%)

区 分	2016年度		2015年度		比 較			
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率		
一 般 会 計	140,226,538	53.4	142,830,301	54.8	△ 2,603,763	△ 1.8		
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業 会 計	51,499,411	19.6	52,081,267	20.0	△ 581,856	△ 1.1	
	下 水 道 事 業 会 計	13,562,200	5.2	11,600,907	4.4	1,961,293	16.9	
	介 護 保 険 事 業 会 計	30,880,355	11.8	29,081,417	11.1	1,798,938	6.2	
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 会 計	9,658,386	3.7	9,337,847	3.6	320,539	3.4	
	病 院 事 業 会 計		16,667,715	6.3	15,913,503	6.1	754,212	4.7
		収 益 的	15,290,470	5.8	14,577,458	5.6	713,012	4.9
		資 本 的	1,377,245	0.5	1,336,045	0.5	41,200	3.1
	小 計	122,268,067	46.6	118,014,941	45.2	4,253,126	3.6	
合 計	262,494,605	100.0	260,845,242	100.0	1,649,363	0.6		

① 一般会計予算規模

2016年度の一般会計予算規模は、1,402億2,654万円で、対前年度比較で1.8%の減少となりました。

これは、民間保育所等の施設型給付事業が8億4千万円、障がい者サービス給付事業が6億1千万円などの増加があったものの、鶴川第一小学校改築事業が16億4千万円、小・中学校防災機能強化事業が6億3千万円、それぞれ減少したことなどによります。

全国的に景気の回復傾向はみられるものの、町田市においては、歳入では市税が法人市民税の一部国税化等に伴い減少し、また財政調整基金現在高が過去10年で最低水準であることから繰入金も減少しています。一方、歳出においては将来見込まれる社会保障関係経費や投資的経費等に係る財政負担を見据え、職員人件費などを減額しています。

なお、2016年度は将来への投資として、循環型社会形成に向けた熱回収施設等整備事業費や副次核に位置づける南町田駅周辺地区拠点整備事業費を計上しています。

一般会計当初予算規模の推移

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016
予算規模(百万円)	141,297	135,473	131,650	139,956	142,830	140,227
伸び率(%)	6.2	△4.1	△2.8	6.3	2.1	△1.8

※2014年度は当初予算が骨格予算のため、6月補正後の予算額です。

② 特別会計予算規模

特別会計の主な増減要因

〔下水道事業会計〕

汚水処理施設の増設工事などに伴い 19 億 6 千万円の増

〔介護保険事業会計〕

保険給付費の伸びなどに伴い 18 億円の増

〔病院事業会計〕

C 型肝炎治療薬の新規採用に伴う薬品費の増などに伴い 7 億 5 千万円の増

2016 年度 会計別予算構成

